

学内!! 国家权力介入 断固粉碎!

生田の全学友諸君！ 一月十八日(土)、午後三時頃、校勅隊(国家权力)は、学校当局の認承なしに、明治大学学生公館駿河地区をはじめ、明大新聞學会を含めなどこの学内直接介入を行い、学内への乱入を始めた。そして、不當にも学友を一斉検挙し、日本國家は今や警察國家への途をどつてゐる。東大斗争にも見られる様に、日本は、大學当局の要請なしに学内への权力としての介入を實行することを、言明している。この様に、日本帝國主義者の指導部達が行なわんと、又行つていろ行為は、自らが、表明しているところの、大學の自治。さらには、"學問の自由"の所在の本質的幻想性を、決定的に暴顯せしめていることの証左であり、帝國主義的再編の、ペルト・ゴンベアーに有無をいわざのせしめている。我々の抗議行動、そして、表現の自由という、人間としての存在をも日本权力は、むやみに弾圧し、平和と民主主義の、幻想をう呈してきた。我々は、このような日本の一方向的な介入、そして、弾圧、抑圧を、徹底的に糾撻し、断固として粉碎しなければならぬ。現在にある以上、自らの人間としての存在を失つてしまい、日本帝國主義を助長するものと化してしまふことは明白なことであろう。

さらには、學問の自由さえも根底から、本質的に喪失して、帝國主義的再編に、のつと偏廻したものとしてしき、なくなつていくであろう。我々は、大學人として、眞の大學生を思考し、建設していくなければならない。

我々は、國家权力の暴動隊が、學館内に、当局・学生を無視して乱入り、學館内にいたといふ理由で、暴力をふるい、不當逮捕をしたことに對して、我々、学友が田舎じ、断固として糾撻し、粉碎することを、全生田の学友に心から強く訴えよう。

明治大學

五箇学部学生公
團體連合委員会 生田地区
文化部連合委員会 生田地区